

令和3年度



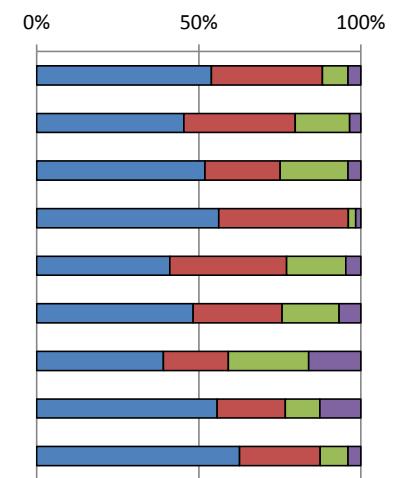
令和3年1月29日
京都市立祥栄小学校
校長 松岡直子
TEL075-681-1556



<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/syouei-s/>

児童による回答

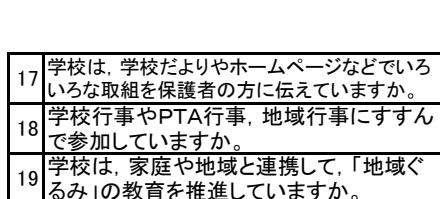
1	学校は楽しいですか。
2	自分からすすんで学習しようとしていますか。
3	学習で分からなことがありますれば、先生に相談できますか。
4	友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	話をしっかりと聞き、考えて、自分の意見を言うことができますか。
6	家ですすんで宿題や学習をしていますか。
7	学校でも家でも、よく本を読んでいますか。
8	いじめ対策委員のメンバーなど担任の先生以外に相談できる人がいることを知っていますか。
9	友だち関係などで困ったことがありますれば、相談できる人(先生や友だち等)がいますか。



保護者による回答

1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。
2	お子さんは、自らすすんで学習しようとしていますか。
3	子どもの学習について、担任に気軽に相談できますか。
4	お子さんは、友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	お子さんは、話をしっかりと聞き、自分の意見を発表することができますか。
6	お子さんは、家で進んで宿題や学習をしていますか。
7	お子さんは、家でよく本を読んでいますか。
8	学校は、いじめ対策委員会を設置して、組織的に対応していることを知っていますか。
9	子どもの友だち関係などについて、教職員に気軽に相談ができますか。

10	お子さんにきまりを守る大切さを教えていますか。
11	お子さんに時と場に応じた言葉づかいができるように話されていますか。
12	お子さんにあいさつや、「ありがとうございます」などの感謝の言葉を自分から言うようにお話しされていますか。
13	お子さんに「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活ができますか。
14	お子さんに家の役割(手伝い)を決め、実行させていますか。
15	お子さんと学校や学級のことについてよく話をしていますか。
16	お子さんが時間を守って集団登校で学校に通えるようにしていますか。



～アンケート結果より～

文部科学大臣のメッセージとして、『Society 5.0時代に生きる子どもたちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れたままではいられません。1人1台端末環境は、もはや令和の時代における学校の「スタンダード」であり、特別なことではありません。』(以下略)と発表しています。今年度、新型コロナウイルスの影響もあり、本校はICT教育を大幅に進めてきました。コンピュータ室だけでなく教室でも多くの教科で1人1台のタブレットPCを活用した授業を実施しています。また、そのクオリティを上げるべく教職員全員でICTを活用した授業づくりの研鑽を積み重ねています。

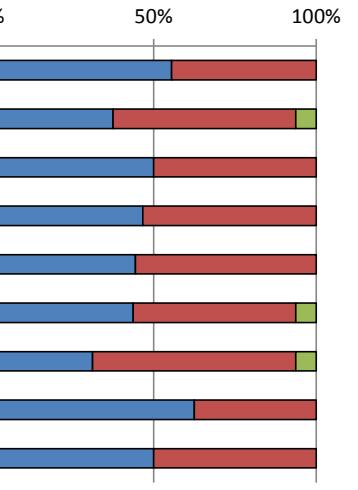
項目1「学校は楽しいですか」という設問に対して、90%以上と多くの子どもたちが肯定的な回答でした。これは7月に引き続き12月も高く、とてもうれしい結果がありました。引き続き充実した学校生活が送れるように見守っていきたいと考えます。項目6「家ですすんで宿題や学習をしていますか」という設問に対しては7月に肯定的な回答が約93%から今回は約76%へと大幅に減少しました。

12月は、学校評価にご協力いただき、ありがとうございます。集計結果と主な考察を掲載しましたので、ご一読いただきますようお願いいたします。学校評価の結果を本校教育に活かしていきたいと考えております。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

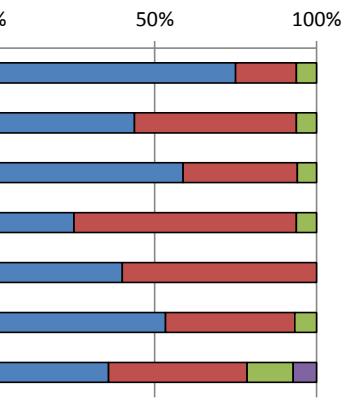


教職員による回答

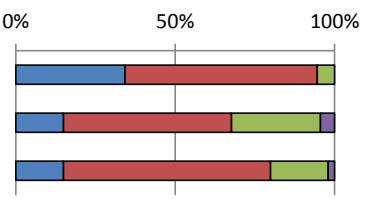
1	子どもが楽しく取り組み、達成感をもてる活動を意図的に行っていますか。
2	一人一人が主体的に力をつけられる授業を工夫していますか。
3	子どもや保護者の思いを受け止め、相談にのっていますか。
4	一人一人を徹底的に大切にし、児童同士が互いに認め合うことができる学級づくりを行っていますか。
5	子どもたちに「話す・聞く」という学習の基本ルールを身につけられるように指導していますか。
6	家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っていますか。
7	本の楽しさに気づかせ、読書好きな子になるように指導をしていますか。
8	学校いじめ防止基本方針の内容を理解し、組織的な対応に努めていますか。
9	児童や保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有していますか。



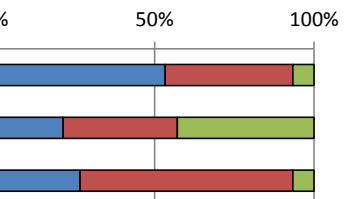
10	学校や学級のきまりについての指導をしていますか。
11	正しい言葉づかいについての指導をするとともに、自身も身に応じた言葉づかいをしていますか。
12	子どもたちにあいさつや感謝の言葉の指導をしっかりとしていますか。
13	子どもたちの生活習慣を向上させる取組ができるていますか。(保健だよりの活用など)
14	当番活動や係活動などの意義を知らせ、責任をもってやりきるようにしていますか。
15	一人一人の学級での様子や出来事についてしっかりと家庭に伝えていますか。
16	町別グループが安全に集団登校ができるように指導と見守りをしていますか。



17	学校は、学校だよりやホームページなどでいろいろな取組を保護者の方に伝えていますか。
18	学校行事やPTA行事、地域行事にすすんで参加していますか。
19	学校は、家庭や地域と連携して、「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。



17	おたよりやホームページなどで学年や学級の様子を積極的に伝えていますか。
18	PTA行事や地域行事にすすんで参加していますか。
19	学校は家庭や地域と連携して、「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。



こちらから子どもたちに積極的にあいさつをするとともに、子どもたちがきちんとあいさつできたら認め、ほめていくことで、自ら進んであいさつができる子どもに育っています。

項目15「家で学校や学級のことによく話しているか」という設問に対して、肯定的な回答が保護者の方は約89%に対して、児童は約73%でした。保護者からは話していると感じていても児童は話せていないと感じている可能性があります。また、児童の肯定的な回答が7月と比べて約11%下落しております。生活が徐々に戻ってきた結果、少しずつ家庭の中で子どもを中心とした会話少なくなりつつあるのかも知れません。こんな時だからこそ、子ども達の声にしっかりと耳を傾け、寄り添い、子ども達の心の居場所をしっかりと確保しておくことが大切です。学校においても子ども

た。7月は休校期間に家庭で学習していたこともあり、やや高く出ていたのではないかと考えます。宿題として子ども達が本気で取り組みたいと感じる課題を設定していきたいと思います。

なかつたりとはつきりとした声でいさつができるにくいようです。学校に限らず、社会生活においても、人と出会ったら、まずいさつから始まります。子どもたちにあいさつすることを求めるだけでなく、我々大人が範を示すことが大事です。

達が中心となって自分の考えや意見を表現できる雰囲気づくりと機会を多くもてるよう授業をすすめています。学校と家庭が協力して、温かい雰囲気の中で、子どもたちを育んでいけるように、これからもよろしくお願ひします。